

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年 5月10日朝刊

富士の製紙メーカー×ロゼシアター

昨年12月から始まった協働事業は、同社が毎週2回、回収して他の古紙と一緒に再生。生産されたトイレットペーパーをロ



再資源化に向け、使用済みのペーパーを回収する従業員
＝富士市のロゼシアター

ゼシアターで使用する。同社の難再生古紙の再生技術を活用し、再利用に問題がないことが実証され、ことしから本格運用に入った。これまでに約400キ超を再資源化したという。

ペーパータオルトイレ紙に

市プロジェクト S D G s 推進へ 協働事業

件。

4月26日時点で登録件数は3

プロジェクトは、2者以上の協働事業を公開し、参加者の拡大を通じてSDGs達成を目指す。

同プラットフォームの登録プロジェクトは、2者以上の協働事業を公開し、参加者の拡大を通じてSDGs達成を目指す。

後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同プラットフォームの登録プロジェクトは、2者以上の協働事業を公開し、参加者の拡大を通じてSDGs達成を目指す。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同社は捨てるしかない認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

①記事のプロジェクトの名前を抜き出して書きましょう。

()

②このプロジェクトに登録された第1号の協働事業は「何を」「何に」リサイクルするものですか。

()を
()に

③この協働事業はどんな問題の解決につながると考えられますか。

()

④どんなことに力を入れてこのプロジェクトを推進していけば、SDGsの達成に近づくとお考えですか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／社会、特別活動、総合)

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年 5月10日朝刊

富士の製紙メーカー×ロゼシアター

ペーパータオルトイレ紙に

富士市の製紙メーカー「コアレックス信栄」と市文化振興財団は市文化会館「ロゼシアター」（夢原町）の使用済みペーパータオルを、トイレ用ペーパーの原材料としてリサイクルする協働事業を始めた。同市が4月に募集を始めた、官民連携組織「市SDGs共想・共創プラットフォーム」の登録プロジェクト第1号として、事業拡大を目指す。

ロゼシアターでは15カ所のトイレにペーパータオルを使用するが、事業ごみとして処分してきた。

昨年12月から始まった協働事業は、同社が毎週2回、回収して他の古紙と一緒に再生。生産されたトイレ用ペーパーを口

再資源化に向け、使用済みのペーパーを回収する従業員
＝富士市のロゼシアター

ゼシアターで使用する。同社の難再生古紙の再生技術を活用し、再利用に問題がないことが実証され、ことしから本格運用に入った。これまでに約400キ超を再資源化したという。

市プロジェクト SDGs推進へ 協働事業

同社によると、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ペーパータオルの利用は拡大しているが、ほぼ焼却処分されている。今回の協働事業で、ごみ削減とロゼシアターのごみ処理費用削減、紙使用減で回収量が減る古紙の確保につながる。障害者施設「くすの木学園」が生産に関わることで、障害者に就労機会を提供する。

同社担当者は「ペーパータオルは捨てるしかない」と認識されてきたが、紙のまちとして新たなごみ問題に対応しなければならぬ」と意義を強調する。今後は他施設に参画を求め循環の輪を広げる。

同プラットフォームの登録プロジェクトは、2者以上の協働事業を公開し、参画者の拡大を通じてSDGs達成を目指す。4月26日時点で登録件数は3件。

①記事のプロジェクトの名前を抜き出して書きましょう。

(「市SDGs共想・共創プラットフォーム」)

②このプロジェクトに登録された第1号の協働事業は「何を」「何に」リサイクルするものですか。

(使用済みペーパータオル) を
(トイレ用ペーパーの原材料) に

③この協働事業はどんな問題の解決につながると考えられますか。

((例)ごみ削減とごみ処理費用の削減、紙使用減で回収量が減る古紙の確保、障害者への就労機会の提供につながる。)

④どんなことに力を入れてこのプロジェクトを推進していけば、SDGsの達成に近づくとお考えですか。記事を参考に、あなたの考えを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例)参画者を拡大させ、循環の輪を広げていくことに力を入れる。(28字)

(例)紙のまちの市民として、プロジェクトの意義に理解を深めること。(30字) など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／社会、特別活動、総合)

年 組 名前